2026 年 10 月 2 日

インフルエンザ週報　2026 年 第 38 週（9 月 14 日 ～ 9 月 20 日）

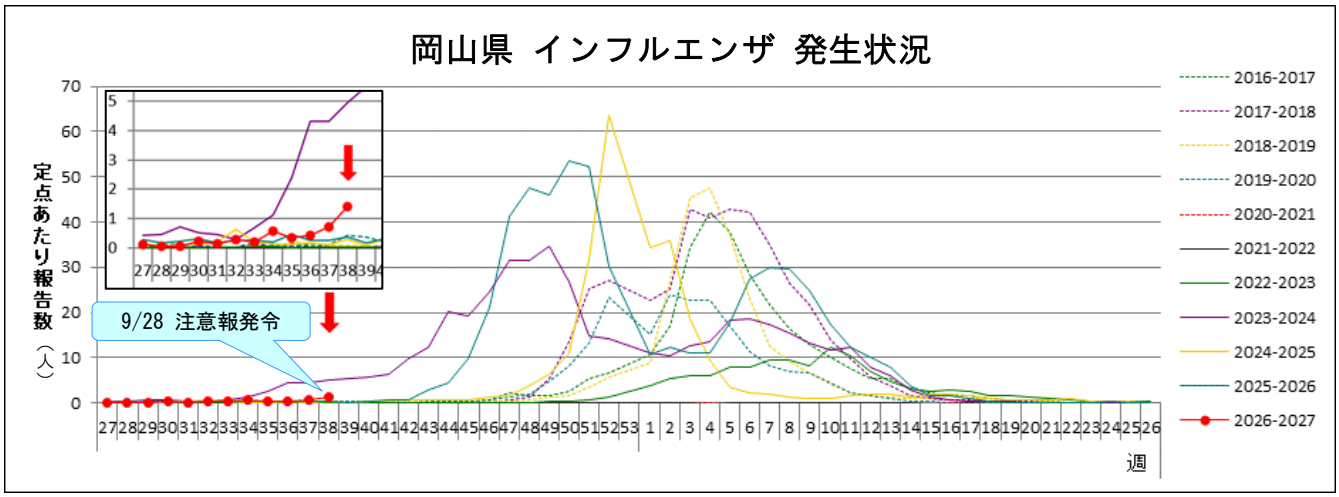
岡山県は『インフルエンザ注意報』を発令しました（9 月 28 日発令）

岡山県の流行状況

○インフルエンザは、県全体で 70 名（定点あたり 1.40 人）の報告がありました（50 定点医療機関報告）。

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、3 施設でありました。

○インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ～ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

※ 2025 年第 15 週以降定点がインフルエンザ/COVID-19 定点（84 医療機関）から ARI 定点（50 医療機関）になりました。

インフルエンザは、県全体で 70 名の報告があり、前週から増加しました（定点あたり 0.72 → 1.40 人）。

定点あたり報告数が、インフルエンザ注意報発令基準の 1.00 人を上まわったことから、岡山県は 9 月 28 日に**「インフルエンザ注意報（流行シーズン入り）」**を発令し、広く注意を呼びかけています。なお、今シーズンの注意報発令は過去 2 番目の早さとなりました。

地域別では、備前地域（2.00 人）、倉敷市（1.75 人）、備中地域（1.40 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。また、予防接種を予定されている方は、早めに済ませましょう。

◆インフルエンザの流行拡大が懸念されます！感染に注意しましょう

【予防と対策】

○基本的な感染防止対策
- 場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- 室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入れ換え
- 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける

○健康的な日常生活
- 十分な休養、バランスのとれた食事

○あらかじめの備え
- 早めのインフルエンザワクチン接種

【発熱等の症状が出た時は】

○早めに医療機関を受診する

○周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！

○水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒　詳細は岡山県ホームページ『インフルエンザ対策について』をご覧ください。

1.　地域別発生状況

地域名	発生状況（人）		推移	地域名	発生状況（人）		推移
岡山県全体	**患 者 数**	**70**	↗	備　中	患 者 数	7	↗
	定点あたり	**1.40**			定点あたり	1.40	
岡山市	患 者 数	23	↑	備　北	患 者 数	3	↑
	定点あたり	1.28			定点あたり	0.75	
倉敷市	患 者 数	21	↗	真　庭	患 者 数	2	↑
	定点あたり	1.75			定点あたり	1.00	
備　前	患 者 数	8	→	美　作	患 者 数	6	↑
	定点あたり	2.00			定点あたり	1.20	

【記号の説明】前週からの推移　↑：大幅な増加　↗：増加　→：ほぼ増減なし　↘：減少　↓：大幅な減少

大幅：前週比 100%以上の増減　　増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

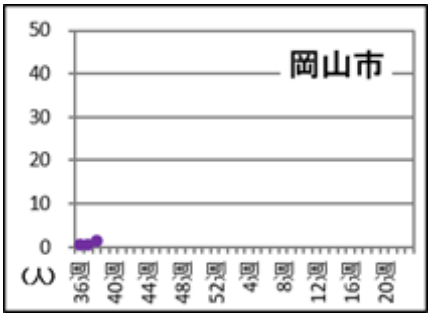
インフルエンザ感染症マップ

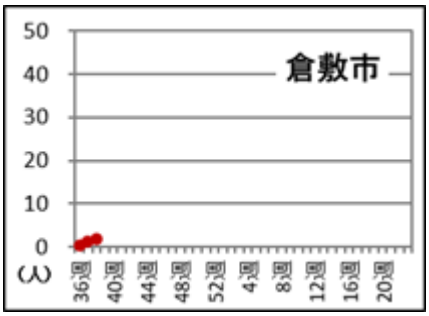
＜インフルエンザ発生レベル 基準＞

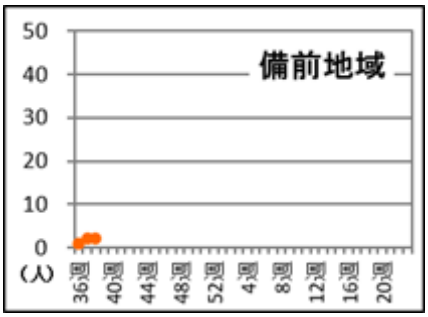
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

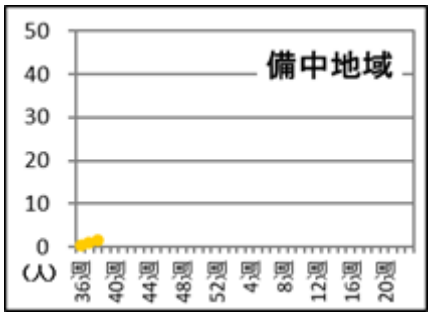
レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 く 10 未満	0

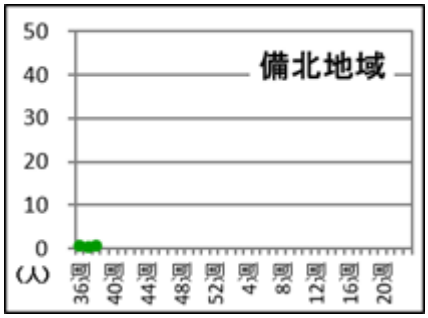
※数字は定点あたり報告数

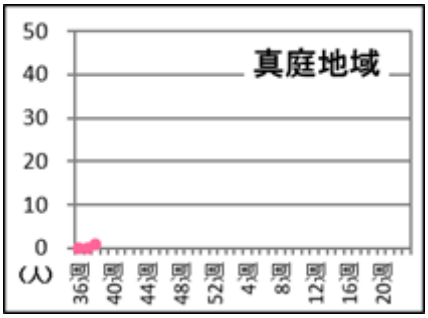


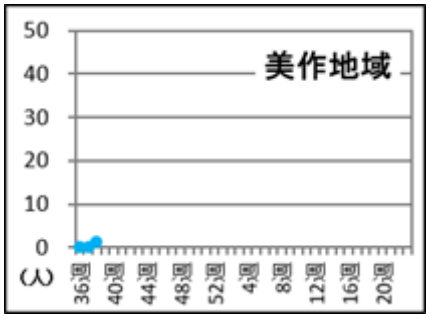


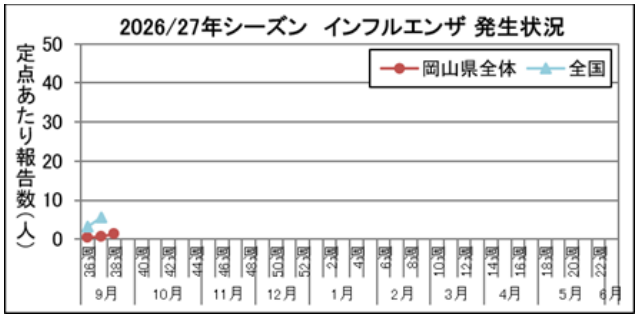










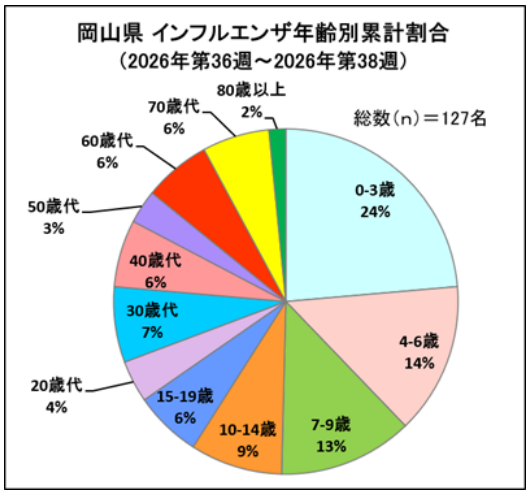


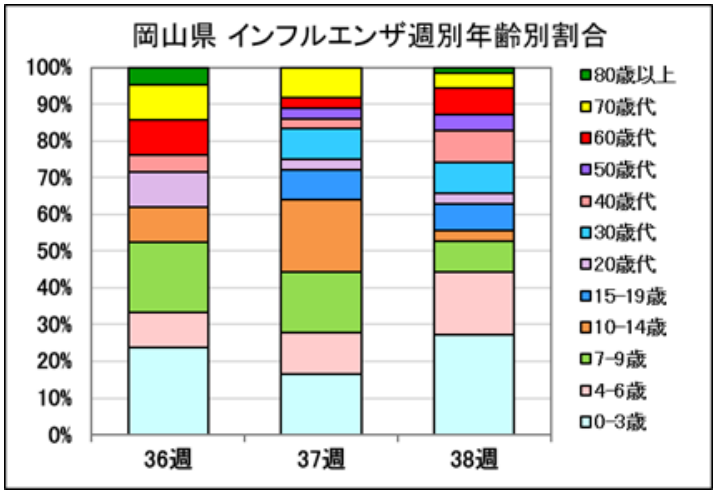
全国集計 2026 年第 37 週（9/7～9/13）速報値によると、全国の定点あたり報告数は、5.54 人となりました。

都道府県別では、沖縄県（16.61 人）、茨城県（9.85 人）、東京都（9.53 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。44 都道府県で前週の報告数から増加しました。

インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）

2.　年齢別発生状況





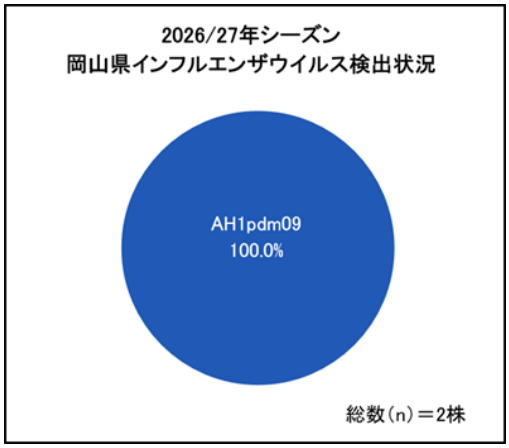
※定点医療機関は、小児科定点（28 医療機関）が内科定点（22 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

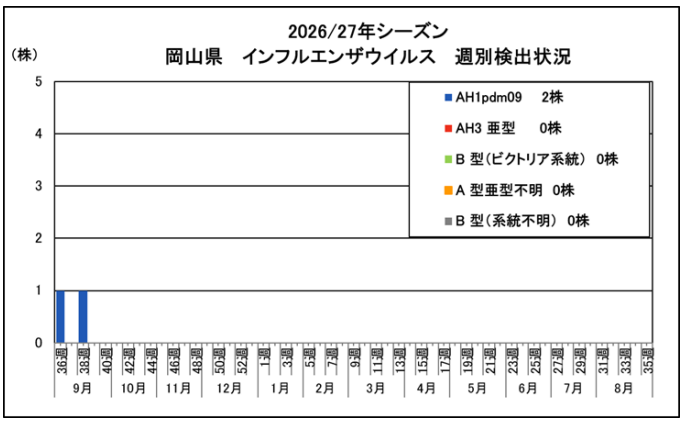
3.　インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

2026 年第 38 週に新たに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 1 株で、AH1pdm09 でした。

今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 2 株で、すべて AH1pdm09 となっています。

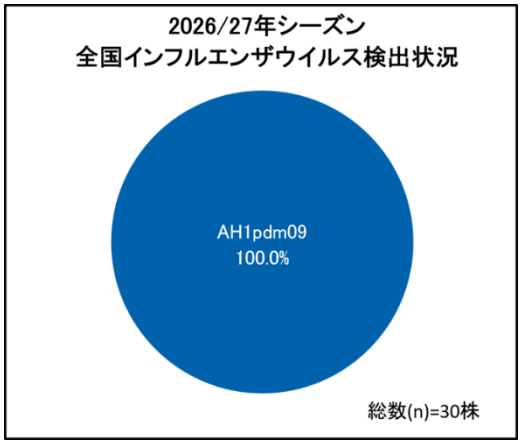


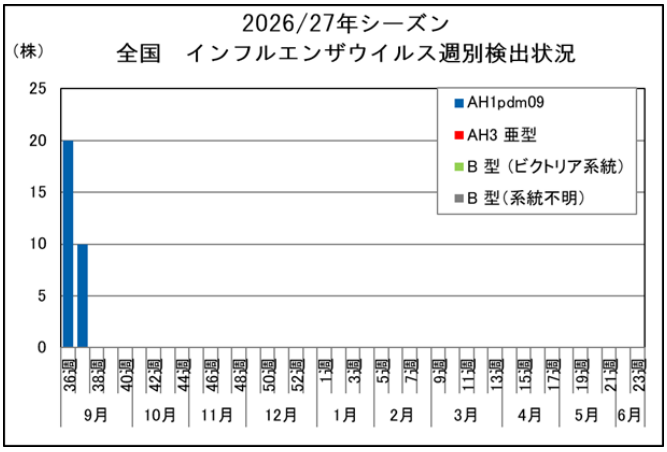


【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルス 30 株で、すべて AH1pdm09 となっています（9 月 24 日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）]

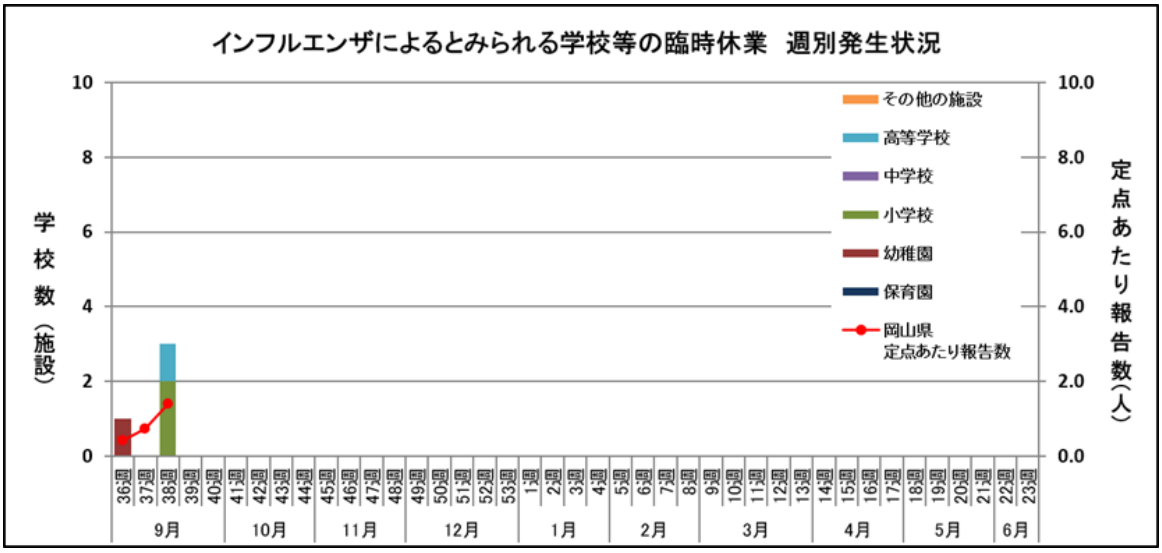




※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

4.　インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、3 施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第 38 週	0	0	2	0	1	0	**3**
累計	0	1	2	0	1	0	**4**

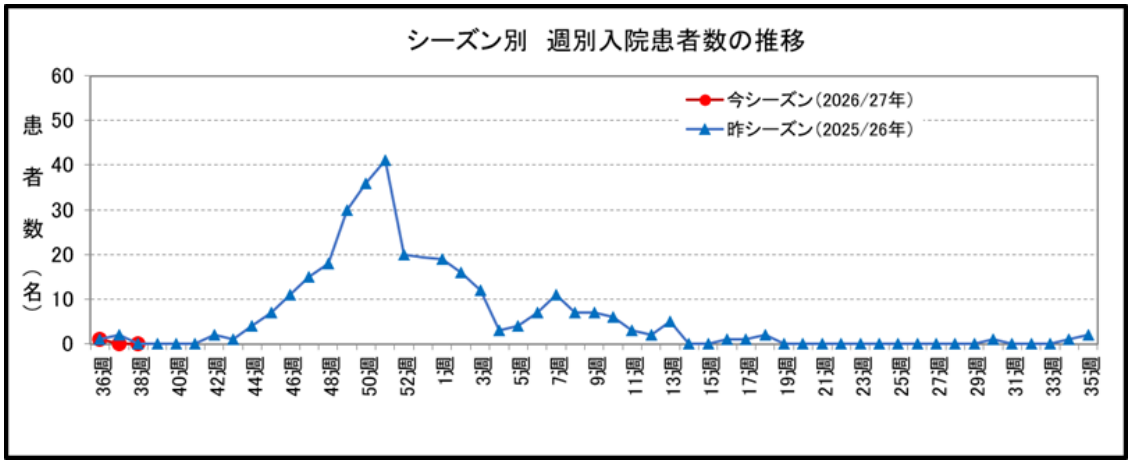
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→　（R8 年度シーズン）岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業

5.　インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【2026 年 8 月 31 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

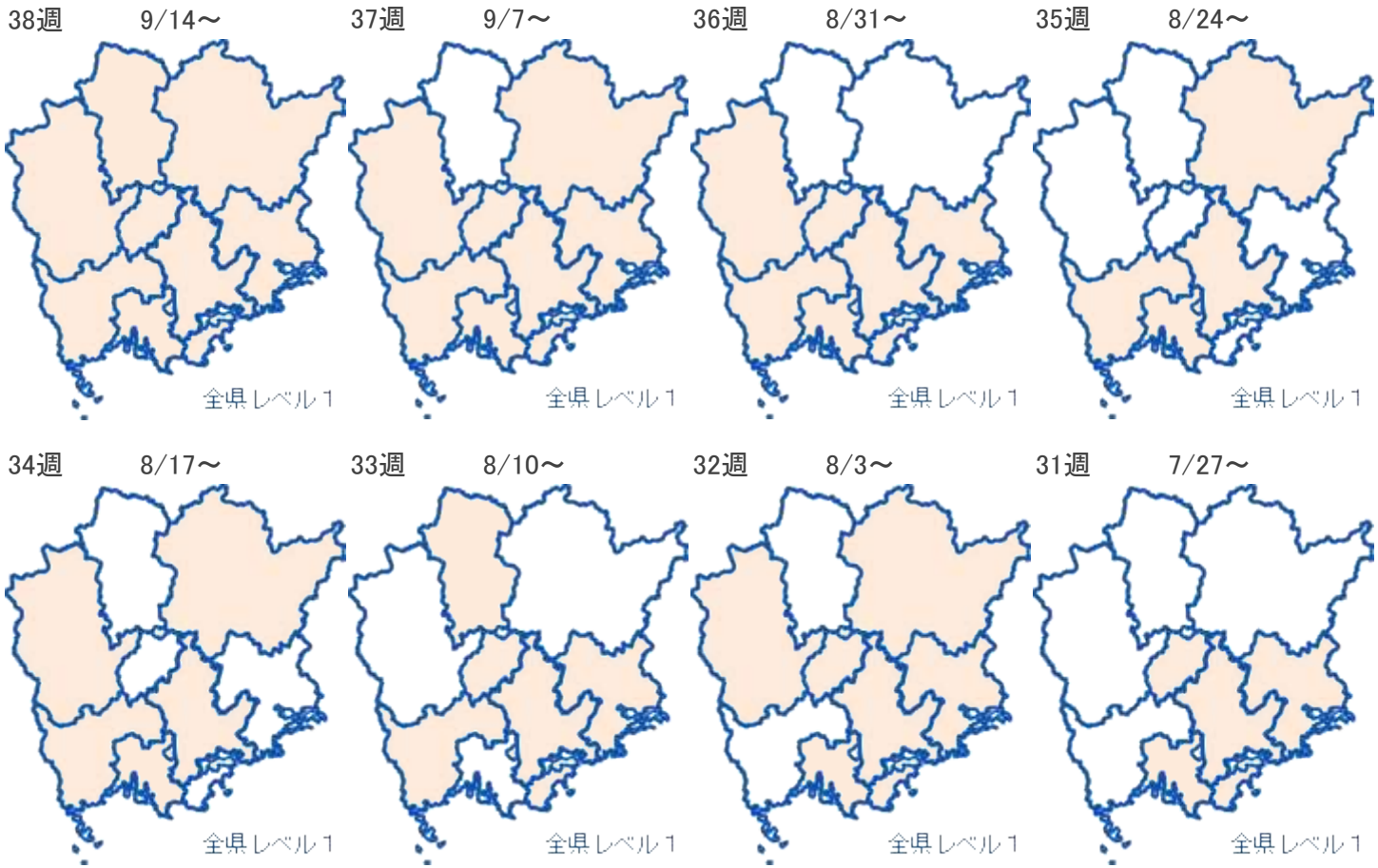
年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計＊
入院患者数											**1**		**1**
ICU 入室 ＊													
人工呼吸器の利用 ＊													
頭部 CT 検査(予定含)＊											1		1
頭部 MRI 検査(予定含)＊													
脳波検査（予定含)＊													
いずれにも該当せず													

＊ 重複あり

令和７年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）
令和７年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）

岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ　2026年 38週

2026年9月25日
9:31:35



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。